

---

# 史跡大友氏遺跡保存管理計画書

---

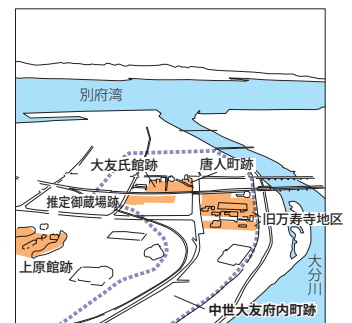
2014 年

大分市教育委員会



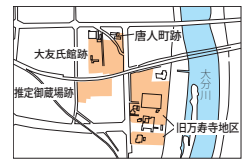


大友氏遺跡遠景空中写真1（南から：平成25年3月撮影）

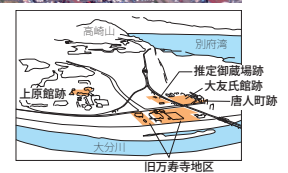




大友氏遺跡遠景空中写真2（上が北：平成25年3月撮影）



大友氏遺跡遠景空中写真3（東から：平成25年3月撮影）



# 序 文

私たちの大分市は、古代から中世、さらには近世、現代へと途切れることなく豊後国の政治・経済・文化の中心として発展し、こうした歴史的背景により、多くの歴史遺産や文化が今も息づいています。

その中でも、大友宗麟公による南蛮貿易の推進により国際貿易都市「豊後府内」として広く世界に知られ、空前の繁栄をみた大分の中世世界は、まさに「大友氏の時代」とも言える輝かしい時代であり、本市のみならず、日本全体の歴史や文化を考える上でも高い評価をいただいております。

本市では、平成13年より大友氏の本拠である国指定史跡大友氏遺跡の指定・公有化を進めています。さらに現在では、市制100年を機に、市をあげて「大友宗麟プロモーション」を展開しており、大友氏と大友氏遺跡を活用したまちづくりに取り組んでいます。

今回の保存管理計画書は、近年の最新資料を踏まえ、史跡大友氏遺跡の価値を改めて明らかにし、この貴重な史跡を確実に次世代へ継承していくための指針等を示したものです。

この大切な宝である歴史遺産を、市民の皆様と力を合わせて適切に保護し活用していくことが現代に生きる我々の使命であり、こうした取り組みを通じて、ふるさとへの誇りと愛着が醸成され、さらなる大分市の活性化、発展へとつながることを期待いたします。

最後になりましたが、本計画策定にあたり、ご支援、ご協力いただきました検討委員会の先生方や関係者をはじめ、様々なご意見やご提案をお寄せいただきました市民の皆様、ご指導いただきました文化庁、大分県教育委員会等の関係各位に対しまして心からお礼を申し上げます。

平成26年3月31日

大分市教育委員会

教育長 足立 一馬

## 例 言

1. 本書は、大分市顕徳町、大字大分等に所在する国指定史跡「大友氏遺跡」を対象とした保存管理計画であり、同時に策定した整備基本構想を付記している。
2. 大友氏遺跡保存管理計画策定事業は、大分市教育委員会が平成 24 年度・25 年度の 2 カ年をかけて実施した。事業の推進に当たっては、平成 25 年度に文化庁の国庫補助金（史跡等保存管理計画策定費国庫補助）の交付を受けた。
3. 策定にかかる事務は、大分市教育委員会教育部文化財課が担当した。また、関係課 17 課による大友氏遺跡を活かしたまちづくり庁内検討委員会を開催し、本計画の内容協議や関連事業の情報収集・調整等を行った。（検討体制は附属資料に掲載）
4. 事業の実施にあたっては、文化庁文化財部記念物課及び大分県教育庁文化課の指導・助言を得た。平成 25 年度には、大友氏遺跡保存管理計画・整備基本構想検討委員会において検討を行い、指導を得た。（検討体制は附属資料に掲載）
5. 本計画の素案作成にあたり、市民の意見を聞くために、市民ワークショップや市民意見交換会を開催し参考資料とした（詳細資料は附属資料に掲載）。素案の作成後は、大分市市民意見公募（パブリックコメント）の所定の手続きを経て、本計画への反映を行った。  
この市民意見公募の結果は、大分市のホームページ（<http://www.city.oita.oita.jp>）や文化財課窓口などで閲覧することができる。
6. 本計画の策定にかかる作業の支援業務に関しては、平成 24 年度・25 年度に㈱文化財保存計画協会へ委託した。
7. 本書で使用した史跡指定地等の地形測量図は下記のものであり、大分市が保管している。  
大友氏館跡：平成 16 年測量の 1/500 図の電子データ  
上原館跡：昭和 62 年測量の 1/500 図  
その他：平成 17 年測量の 1/2500 図の電子データ
8. 本書で使用した写真のうち、第 1 章で使用した写真には、附属資料の参考文献にある大分県教育庁埋蔵文化財センター刊行の文献に掲載されたものを含む。この他の写真ならびに空中写真については㈱文化財保存計画協会および大分市教育委員会で撮影・保管しているものを使用した。
9. 本書の執筆・編集は、㈱文化財保存計画協会および大分市教育委員会文化財課職員が分担して行った。

## 凡 例

本書において、「大友氏の館跡」を指す用語については、史跡指定時の名称である「大友氏館跡」を用いることを原則とし、歴史上の文脈において特に必要な場合は「大友館」の語を用いている。

大友氏遺跡をその一部とする中世都市遺跡については、「豊後府内」と呼ばれることが多いが、歴史的名称としての「豊後府内」が指し示す地域概念は下郡などの大分川東岸地域や、外港である沖ノ浜まで含む広範囲なものであるため、本書の記述では周知の埋蔵文化財包蔵地の名称「中世大友府内町跡」を原則として用いた。しかし、文脈上の必要により、「中世大友府内町跡」と同じ地域概念で「府内のまち」や「豊後府内」を使用した箇所がある。

# 目次

○序文

○例言・凡例

序章 大友氏遺跡保存管理計画の概要	1
1. 計画策定に至る経緯	
2. 計画策定の目的	
3. 計画の対象範囲	
4. 計画の見直しについて	
第1章 大友氏遺跡の概要と価値	6
1. 大友氏遺跡の地理的・歴史的環境	
2. 大友氏についての沿革	
3. 大友氏遺跡の調査概要	
4. 関連遺跡の調査概要	
5. 大友氏遺跡の調査成果概要	
6. 大友氏遺跡の評価	
7. 大友氏遺跡の価値	
第2章 大友氏遺跡の保存活用に関する取組状況	37
1. 大友氏遺跡の保護に係る経緯	
2. 史跡指定	
3. 土地利用	
4. 大友氏遺跡に関する普及啓発	
5. 大友氏遺跡歴史公園整備に関する市民ワークショップ	
6. 大友氏遺跡とその周辺部の状況	
第3章 保存管理計画	65
1. 保存管理の基本的方向性	
2. 大友氏遺跡の構成要素の分類・抽出	
3. 史跡大友氏遺跡の保存管理方針	
4. 史跡の現状変更の取扱い方針及び基準	
5. 関連遺跡の保全に関する考え方	
第4章 整備基本構想	81
1. 整備活用の基本的方向性	
2. 整備のゾーニング	

3. 地区別の整備方針
4. 大友氏関連の文化財広域連携（大友歴史交流ネットワーク構想）
5. 大友氏歴史公園整備事業の推進方針

**第5章 保存管理・整備活用の体制整備** ..... 98

1. 保存管理・整備活用の体制整備に関する基本的な考え方
2. 大分市の体制整備の方針
3. 歴史公園の管理運営における体制の方針

**○附属資料** ..... 101

1. 大友氏遺跡保存管理計画・整備基本構想検討委員会の概要
  - 資料1 大友氏遺跡保存管理計画・整備基本構想検討委員会設置要綱
  - 資料2 検討体制（大友氏遺跡保存管理計画・整備基本構想検討委員会）
2. 大友氏を活かしたまちづくり市内検討委員会の概要
  - 資料3 大友氏を活かしたまちづくり市内検討委員会設置要綱
3. 委員会等の開催経過一覧
4. 大友氏遺跡歴史公園整備に関する市民意見
  - 資料4 市民ワークショップ（平成25年11月20日・11月27日開催）による意見一覧
  - 資料5 市民意見交換会（平成26年1月18日開催）による意見一覧
5. 参考文献